

**令和元年度執行事務事業**

施策名	基本事業	番号	事務事業名
スポーツツーリズムの推進	スポーツを支える環境づくり		1 スポーツボランティア育成事業

事務事業名		スポーツボランティア育成事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	スポーツ立市推進係	担当課長名	村山 和之	
	施策	1 スポーツツーリズムの推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 スポーツを支える環境づくり					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15070	一般	10	5	1	スポーツボランティア育成事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成26年度～平成 年度		根拠法令 条例等	第2次佐野市スポーツ立市推進基本計画					
	実施方法		直営		事業分類		人材育成事業				
	リーディングプロジェクト		該当		市長市政公約		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
スポーツツーリズムの推進に伴い誘致するスポーツ大会イベントの運営や歓迎に協力するスポーツボランティアの確保と育成を目的とする。 市民のボランティア活動に対する理解促進とボランティア参加の意識を啓発し、ボランティアの募集と登録制により人材を確保するとともに、講習等により知識や技術の習得に努めてもらい、段階的に人材の資質の向上を図る取り組みを行う。		・さのマラソンのボランティア(参加賞品の袋詰め、当日の給水所運営、交通規制、参加選手誘導、距離表示等のボランティアを体協支部、中・高等学校の生徒に依頼予定) → 大会中止 ・大澤駅伝競走大会のボランティア(交通規制、参加選手誘導を市体協支部、中・高等学校の生徒に依頼予定) → 大会中止 ※令和元年度東日本台風被災により、秋以降のボランティア活用を予定したスポーツイベントが中止となったため、活動の実績がなかった。					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
登録したボランティアが活動したスポーツイベント数		回	2	3	0	1	3
スポーツボランティア講習会		回	1	0	0	1	1

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	人口	人	120,018	119,348	118,450	117,706	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	スポーツボランティアに登録し、活動に参加してもらう。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		スポーツボランティアの登録者数	人	49	50	50	50	100

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

	スポーツを好きな市民に、スポーツ事業を支えるボランティア活動に参加してもらう。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		スポーツボランティアの登録者数	人	49	50	50	50	100

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円										
	事業費計(A)	千円	0		0		0		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
	人件費	正規職員従事人数	人	2		2		2				
	のべ業務時間	時間	200		200		200					
	人件費計(B)	千円	763		764		763		0		0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	763		764		763		0		0	

事務事業名	スポーツボランティア育成事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	スポーツ立市推進係
-------	----------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	スポーツ立市推進基本計画の基本施策である「人々の交流を促進するスポーツツーリズムの推進」の基本事業に「ボランティアスタッフの確保と育成」を挙げており、その実現を図るために実施する。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成18年12月の「観光立国推進基本法」や、平成22年8月の「スポーツ立国戦略」の策定に端を発し、2020年の東京オリンピック・パラリンピックなどの開催もあって、スポーツを目的に誘客を図るスポーツツーリズムに関心を持つ自治体が増えており、事業誘致等での自治体間の競争は激しくなることが予想される。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	佐野市スポーツ立市推進基本計画策定委員会や策定懇談会において、支えるスポーツは市民の協力をなしにスポーツ大会イベントの運営や来場者のもてなしを果たせないで、市民・市民団体の参加を求めることが肝要であるとの意見があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	令和元年東日本台風の影響で、ボランティアの活用ができなかった。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	スポーツツーリズムを官民一体となって進めるためには欠かせない事業であるので、施策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	スポーツツーリズムの推進は新しい施策であり、市の働きかけが必要であるので、市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	スポーツツーリズムの推進を市民の協力をもって支えられるようにする必要があるため、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	ボランティア活動を実践しての感想などの声を外に発信し、実際活動している方の「生の声」を発信することにより、新たな登録者を増やす手段も考えていかなければならない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	切り口がスポーツと観光という関連がありそうでなさそうな分野でのボランティア活動を統合するのは難しいと思う。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	無償ボランティアとしてお願いしているため報酬などの経費はかからないが、ボランティア活動を行う際に最低限の保障(保険)は必要不可欠な経費であるため、事業費、またそれに関わる職員の人件費は削減する余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	支えるスポーツを推進するボランティアに受益者負担を求めるのは適当ではない。ただし、ボランティアの動員を必要とするスポーツ大会等については、参加者から本事業費相当分の受益者負担を求めるのが適当と考える。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
スポーツを通しての交流人口が増えることになると、他市、他県からの来訪者へのおもてなしが重要な要素となってくる。そのためにも、スポーツボランティアの存在は大変重要なポジションを担っているため、本事業の休止・廃止はできない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ① ボランティア登録者を増やす。 ② ボランティアとして活躍する場、情報を提供する。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>①②</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		①②		維持			×	低下		×	×	①ボランティアとして活動する場や大会情報の提供。 → そのためには、市主催の大会でボランティアを活用する大会の情報提供。市体協加盟団体主催の大会等で、ボランティアを必要とする大会の調査。 ②新型コロナウィルスの影響に対応した、新たな生活様式に合わせた活動のガイドライン作成
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		①②																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					